

「森里海連環 高津川流域ふるさと構想」特区 [指定：平成23年12月、認定：平成29年3月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(4.7 + 4.0) / 2 = 4.4$

4.4

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	路網整備と計画的施業の推進	99%	5
2	地域資源を活用した農村定住・交流促進	94%	4
3	高津川流域の水質浄化及び川と海の水産資源の維持・増殖	158%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値

 $(5 \times 2 + 4 \times 1 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 3 = 4.7$

4.7

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 評価指標1は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が整合しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.0

Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii)の平均値 $(3.5+3.3+4.0) \div 3 = 3.6$

3.6

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.5

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.3

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.0

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.0

・計画初年度ということもあって全般的にはよい成果が挙げられている。

・新規就農者人数は、伸びているものの、実績値が目標値を大きく下回り、目標値との乖離が大きくなっていくことが懸念される。鳥獣害への対応など営農への阻害につながるものへの取組努力については評価することができる。

・水質浄化に向けた多様な取り組みがなされている一方で、仔アユの流量が依然低調であるのは残念であり、原因調査が必要ではないか。

・山と清流を観光資源として活用すべき。支援団体の組織の仕方も、海外も含めた地域外の環境保全団体との結びつきを強めていく必要がある。そのことでまとまった数の人間の呼び込みも可能となる。

・計画全体としての整合性にやや欠けるように思われる。森林の適正な管理と生産システムの構築と他の項目とが、どのように関連してくるのが分かりにくい。木材需要をどのように開発するかをもう少し考える必要がある。外国人観光客の呼び込みと特定酒類の製造、高津川の清流がリンクするような戦略にする必要がある。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.0

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(4.4+3.6+3.0 \times 2) \div 4 = 3.5$

3.5

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

・評価は5～1(評点)で行う。

・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。

・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。